

会長さんを訪ねて



「合併後、一つの地域としての相乗効果に期待する」

石巻かほく商工会

会長 大橋 泰雄氏

○会長さんのご商売についてお聞かせください。

父親は兎や鶏、毛皮等を扱う家畜商を営んでいたのですが、私が家業を継いでから食肉販売業に転換し、現在に至っています。

○業種転換を図る際に何かノウハウを勉強されたのですか。

実は父親の商売上、子供の頃から動物が好きで獣医師になりました。動物が好きで獣医師になりました。動物が好きで獣医師になりました。

しかし、若い時には色々考えるもので、二十の時には牧場を経営したくて、両親に内緒で自衛隊(当時は北海道に駐屯することになる)を受け、それを口実に北海道に渡ろうとしたこともありました。

もっとも合格した時点でバレてしまいました。結局は、家督で幼い弟妹もあつたことから地元に残ることになったのですが、直ぐに家



地域交流の核となる道の駅

には入らず、食肉を扱っていた石巻の友人と一緒に商売をやりながらノウハウを学びました。

○最近の経営環境はいかがですか。

都市部への購買客の流出に加え、大手の地方進出や市町村合併等により競争が激化し厳しい状況が続いておりますね。

○地域商業の状況はいかがでしょう。また、商工会としての今後の方針や対策についてお聞かせ下さい。

明るい兆しとしては、商工会の合併で域内交流の機会が若干増えたことが挙げられますが、厳しい状況に変わりありません。

区と雄勝地区にあるスタンプ会を統一し、ポイントカード制を導入する等、消費者が利用しやすい仕組みを検討できないものかと考えております。また、今まで夫々の地区で行っていたお祭りや各イベントへの出店等一つの地域と

しての特色を出せれば、相乗効果が期待できると思っております。

元気な経営

がんばる女将さん

「暖簾の重みを引継いで」



(有)齋林本店

齋藤 タミ子さん

美里町商工会

女手一つで必死に守ってきた老舗の暖簾。私が姑から暖簾を受け継いだ時は、バブル期で店も繁昌を極めておりま

したが、時が流れ息子が家業を継ぐ時には、酒販店はまさに氷河期、量販店に挟まれ悪戦苦闘の日々でありました。

息子が家業へ従事してくれるのは、嬉しくもありました。が、苦しい現実と向き合う事にもなるため、果たして息子の居場所となり得るのか!と心配の方が先立ちました。

しかしそれは杞憂でありました。いつしか若者の行動力は、

私達夫婦に意識改革を促させ、伝統と新風が溶け合っ

て、店に変革をもたらした。いい空気が流れはじめました。「顔の見える商品販売」を合

言言葉に、何度も蔵元に足を運び、納得したものだけを置く。日本酒は、リーチインに陳列し品質管理をする。酒質・飲み方の説明を徹底する。季節ごとにレイアウトを変えお客様のお客様の目を楽ませる。等の工夫を凝らし、少しずつお客様が店内に足を止める時間が長くなり、情報交換の場ともなってきました。

また、イベントへの出店、



店舗の様子

独自の企画(酒米作りから酒造りの会、ここだけの人々の発足、地酒を楽しむ会、温泉一泊の癒しの旅、ボジョレーヌーヴォーの試飲会)等々、作り手、売り手、買い手の垣根を越えた交流は、感動と喜びを生み、更なる挑戦への礎となつていきたいと思います。

初代から続く商人としての心意気、時代に翻弄された姑が頑なに守り継いできたもの、それらを六代に根づかせ、七代へと継いでゆくことが私の生涯の仕事と思っております。